

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室
実施報告書

秋田県 秋田県立秋田南高等学校中等部



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

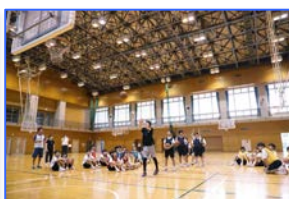
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年11月7日 (木)

■ク ラ ス : 2年1組 (27名)

■オリンピアン : 笹原 友希 先生 (スケルトン) 【出場オリンピック/ソチ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・今日の授業ではオリンピックバリューについて学ぼうと授業の目的を確認。オリンピックバリューについて、「エクセレンス=卓越」「フレンドシップ=友情」「リスペクト=尊敬」と説明。運動の時間は「全力でがんばること」「協力すること」「助け合うこと」を約束し、準備体操へ移る。
- ・ストレッチとボール取りゲームを実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・そりリレーを4班対抗で実施 (全3回)
- ・各回終了後、作戦タイムを設け、より早くゴールできる方法を話し合う。



4. まとめ



- ・運動の時間を振り返り、「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」を皆実践できていたと伝え、次の座学の時間ではもっと深く掘り下げて、笹原先生がオリンピックを通して学んだことや感じたことを伝えたいと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・映像を見せながら競技紹介。
- ・笹原先生にとってのオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝卓越、全力で取り組む、ベストを尽くす」、「フレンドシップ＝友情、チームワーク、協力、助け合う、高め合う」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：どのような中学校生活を送りたいか、どのような高校生になりたいかそのためにどのようなことに取組みたいか書き出してみよう。
- 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。
 「全力で取り組む」「以前の自分を越える」「何かに一生懸命取り組んだと卒業時に言えるようになりたい」(エクセレンス)
 「お互いに助け合っていく」「お互いに切磋琢磨する」(フレンドシップ)
 「友に感謝する」「お互いを高めあえる存在」「友達を尊敬する」(リスペクト)

4. まとめ



- ・グループワークで話し合ったことは、一見当たり前のことばかりだが、毎日続けるのは難しいので、常に意識して実践してほしいと伝える。
- ・東京2020大会では勝敗だけでなく、選手同士が協力したり、お互いに高め合ったりしている場面も注目して見てほしい。オリンピック教室をきっかけにオリンピックへの理解を深め、学んだことを日常生活に活かしてほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日 : 2019年11月7日 (木)

■ク ラ ス : 2年2組 (27名)、2年3組 (26名)

■オリンピアン : 太田 陽子 先生 (陸上競技) 【出場オリンピック/シドニー大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



2. 準備体操



・運動の時間ではオリンピックバリューについて考えながら、まずは色々な運動をしていきたいと授業の流れを確認。運動の時間は「全力で取り組むこと」「協力すること」「相手を尊重すること」を約束し、準備体操へ移る。
・準備体操として、ストレッチ、じゃんけん勝ち抜けを実施。

3. 主運動



・立ち幅跳びリレーを4班対抗で全3回実施。太田先生からより遠くへ跳ぶためにアドバイスを送る。

4. まとめ



・運動の時間の冒頭に伝えた約束を実践できていたと話し、座学の時間ではオリンピックバリューについて詳しく説明すると予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・映像を見せながら競技紹介。
- ・太田先生にとってのオリンピックバリューについて、「エクセレンス＝「卓越、ベストを尽くす、一生懸命頑張る、あきらめない、平常心」、「フレンドシップ＝友情、お互いを尊重する、ライバルと共に」、「リスペクト＝敬意/尊重、思いやり、結果を受け入れる、フェアプレー」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：日常生活等、様々な場面で感じるオリンピックバリューを書き出そう。

発表：各班の代表者1名が前に出て発表。

「あきらめない心」「自己管理」「自分に自信を持つ」「責任感を持つ(エクセレンス)

「コミュニケーションをとる」「助け合う」「相手を応援する」「大きな器を持つ」(フレンドシップ)

「ライバルの存在」「テスト結果を受け入れる」「ルールを守る」「ライバルと共に戦う」「思いやりを持つ」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックには選手としてだけでなく、ボランティアや応援、選手のサポート等、さまざまな立場で携わることができる。今後も大きなスポーツのイベントが日本で開催されるかもしれないので、オリンピック教室で学んだことを活かして、積極的に参加してくれたらうれしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

